

ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。
この資料並びにコンテンツは、著作権等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記の条件でのみ利用することができます。

1. お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、および使用することができます。
2. お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示および使用条件と一緒に付す必要があります。
3. お客様はこの資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社および当社との関係会社は、お客様に対してこの資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権およびその他の知的財産権をライセンスするものではありません。並びに資料およびコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料、並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権の表示、使用条件を遵守する必要があります。

※このコンテンツはWeb上での使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書と同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

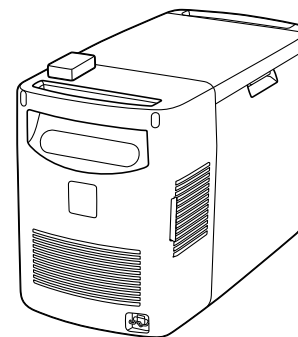
※この資料並びにコンテンツの内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

※デザイン、仕様は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

感動をデザインします

TWINBIRD

ディープフリーザー25L SC-DF25WL 取扱説明書



■このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

■本取扱説明書をよくお読みください。不適切な取り扱いは事故につながります。ご使用前に、本取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みいただき、安全にご使用ください。

■最新情報はこちらよりアクセスをお願い致します。



■本取扱説明書は必ず保管し、必要な時にお読みください。

【PDF版の取扱説明書についてのお知らせ】

- 表示/閲覧はPDFビューアの利用を推奨します。
- Webブラウザ（インターネットエクスプローラなど）で表示/閲覧すると、リンクアクションの実行や表示が正しく行われない場合があります。
- QRコード、ツインバードロゴ、URL、メールアドレス、電話番号（FAX番号を除く）、フリーダイヤルをタッチまたはクリックするとアクセスできます。

●もくじ

安全上のご注意	1~3
サポートページについて	4
本製品について	5~6
セット内容	7~8
各部の名称とはたらき	9~16
(1)ディープフリーザー	9~10
(2)ディープフリーザー 操作パネル	11~12
(3)温度ロガー	13~14
(4)温度ロガー専用アプリ TH View	15~16
準備と設置	17~21
(1)ディープフリーザーと電源の接続	17~18
(2)温度ロガー	19~20
(3)専用アプリ TH View	21
基本操作	22~30
(1)ディープフリーザーの使いかた	23~26
(2)温度ロガーと専用アプリ TH Viewの使いかた	27~30
お手入れ	31
よくあるお問い合わせ	32~34
ディープフリーザー	32
温度ロガー	33
専用アプリ TH View	34
エラー表示/警告表示	35~36
アフターサービス	37
仕様	38

保証書付

ご購入時の納品書が保証書となりますので、本書と共に大切に保管してください。裏表紙についています。必ず記入をお受けください。

安全上のご注意 必ずお守りください。




製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


●表示の説明

警告 「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。


注意 「傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される」内容です。


●図記号の説明


   してはいけない「禁止」の内容です。


 必ず実行していただく「強制」の内容です。


警告


 水につけたり、水を掛けたりしないでください。湿気の多い所や雨のかかる所には置かないでください。
ショート・感電の恐れがあります。


 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。


 引火しやすいものは入れないでください。(ガソリン、シンナー、スプレーなど)
爆発する恐れがあります。


 子供だけで使わせないでください。幼児が近くにいる場合はご注意ください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。


 設定温度を4℃以下で使用するときはガラスびんや缶など割れたり、破裂しやすいものは入れないでください。
中身が凍って割れ、けがをする恐れがあります。


 付属のACアダプター以外のご使用にしないでください。
故障の原因になります。


 ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターの上に物を載せたり、ものをかぶせたりしないでください。
ACアダプターが過熱し火災の恐れがあります。

 めれた手で庫内をさわらないでください。
凍傷の恐れがあります。


 フタの上に重量物を置かないでください。
重量物が落下し、けがをする恐れがあります。


 フタの開閉時に庫内周囲のヘリに手を置かないでください。
手をはさんだりしてけがの原因になります。


 運搬の際はご注意ください。
本体に内容物を入れた後は重くなります。持ち上げたり、置いたり、移動するときは、特に慎重にお取り扱いください。思わぬ事故やけがの原因になります。


 異常・故障時には直ちに使用を中止し、DC電源プラグやAC電源プラグを外してください。
発火・感電・けがの原因になります。弊社お客様サービス係に点検・修理を依頼してください。


注意

 強い衝撃を与えないでください。
電子部品を内蔵しているため故障の原因になります。

 長期に使わない場合や片付けるときなど、運転を停止するタイミングでお手入れしてください。


 庫内壁面には結露によって霜が付きます。霜が付いたまま使用すると、冷却性能が低下します。


 この取扱説明書に指定している使用方法、使用環境条件以外では、使用、保管しないでください。
製品が故障する恐れがあります。


 運搬の際は、ハンドルを持ってください。
ハンドル以外の部分を持って運搬すると、製品落下・その他の事故・けがの原因になります。


注意


(設置時)


 DC電源プラグ・DCプラグ・AC電源プラグ・コネクタボディーが傷んだり、差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。


 アクセサリーソケットの分配ソケットおよび延長用ケーブルは使用しないでください。
電圧が低下して動作しない恐れがあります。


 DC電源プラグ・DCプラグ・AC電源プラグ・コネクタボディーの抜き差しは樹脂製のプラグ部を持ちまっすぐに抜き差ししてください。
ヒューズの誤溶断、感電・ショート・発煙・発火の原因になります。


 車のバッテリーを電源として使用するときは、必ずアクセサリーソケットに単独で接続してお使いください。
「タコ足配線」で使われると、ショートしたり、バッテリーの容量超過による過熱などで、火災になる恐れがあります。故障や破損の原因になります。

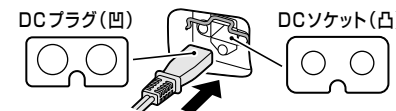
 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。


 DC電源コードをブレーキ、ペダル、シフトなどの近くに配線しないでください。
運転の妨げになったり、不意の運転停止やショート・発火の原因になります。


 AC100V 15A以上の専用電源コンセントにて単独でご使用ください。
コンセントを他の電気機器と併用すると電力不足により製品が停止する恐れがあります。

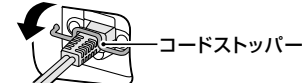
 電流容量に注意してください。
車でお使いの際に他の自動車用電気製品と併用する場合は、電流容量に気を付けてください。車のヒューズが切れる原因になります。


 DCプラグには⊕⊖があります。DCソケット部の凸部とDCプラグ部の凹部を合わせて、差し込んでください。
上下を逆に差し込むと故障の原因になります。




 DC電源プラグ・AC電源プラグ・DCプラグ・コネクタボディーはしっかりと奥まで差し込んでください。
差し込みがゆるかったり不十分だと、不意の運転停止やショート・発火の原因になります。


 差し込んだDCプラグにコードストッパーを取り付けてお使いください。
コードストッパーを使わないと、差し込みがゆるくなって不意の運転停止やショート・発火の原因になります。




 DC12V専用です。DC24Vでは使用しないでください。トラック、バスなど24V車では使えません。
発煙・発火・故障の原因になります。



 DC電源コードのヒューズは、指定する定格のヒューズを使用してください。定格電圧：125Vac、定格電流：10A、特性：B種 普通溶断型、サイズ：6.4×30mm 管形ヒューズ
ヒューズの誤溶断や、発煙、発火する恐れがあります。

 DC電源コードのヒューズが頻繁に溶断する場合、製品に異常がある恐れがあります。直ちに使用を中止し購入先もしくはお客様サービス係にご連絡ください。
発煙・発火する恐れがあります。

 使用中にDC電源コードが異常に発熱する場合、直ちに使用を中止し購入先もしくはお客様サービス係にご連絡ください。
発煙・発火する恐れがあります。

⚠ 注意

(使用時)

- 禁止** 車のトランクの中では使わないでください。
高温となり故障の原因になります。
- 禁止** 庫内に氷や水などの液体を直接入れないでください。また、ドライアイスは入れないでください。
床をぬらしたり、本体のサビ・感電・故障・破裂の原因になります。
- 強制** DC電源プラグ・AC電源プラグ・DCプラグ・コネクタボディーを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の樹脂製のプラグ部を持って引き抜いてください。
感電やショートして発火する恐れがあります。
- 強制** エンジンを止める前にDC電源プラグ・AC電源プラグを抜いてください。
エンジンを切っても電源の切れない車種があり、DC電源プラグ・AC電源プラグを接続状態で放置するとバッテリーがあがる原因になります。
- 強制** 開閉保護装置について
フタは開閉したときにゆっくりと閉まる保護装置が設けてあります。半開きの状態では保護装置が十分に働かず、フタの重さで勢いよく閉まることがありますので、手などを挟まないよう静かに開閉してください。
- 禁止** 本体にものをのせたり、のったりしないでください。
製品破損の原因になります。
- 禁止** 吸気口、排気口をふさがらないでください。
故障の原因になります。
- 強制** 使用する環境によっては製品の外観部に結露が発生することがあります。結露は自然現象であり、故障ではありませんが、速やかにふきとってください。
床をぬらしたり、本体のサビや故障の原因になります。
- 強制** 内側と外側の湿気はふき取ってください。
床をぬらしたり、本体のサビや故障の原因になります。
- 強制** ご使用になる環境によっては、製品に結露水が付着し床面にこぼれることがあります。付属のマットを下に敷いてからご使用ください。(色のついた布状の面を表にしてください。)
床をぬらしたり、本体のサビや故障の原因になります。
- 強制** 12度以上傾いた場所では使用しないでください。また、運転の妨げにならない場所に設置してください。
故障の原因になります。

(お手入れ・保管時)

- 禁止** ナイフ・ドライバーなどを使って庫内についた霜や氷を取らないでください。(31ページの「お手入れ」をご覧ください。)
庫内壁面は冷却器になっており、傷がつきますと故障の原因になります。
- 禁止** 吸気口、排気口へ異物を差し込まないでください。
製品破損や故障の原因になります。
- 強制** フィルター掃除後は、確実にフィルターを本体内に押し込み、元の位置まで戻してからお使いください。
フィルターを戻さずに使用すると故障の原因になります。
- 強制** 吸気口のフィルターは本体から取り外しできません。引き出した状態でお手入れしてください。
無理に引き出すと製品破損・故障の原因になります。
- 禁止** 本体の丸洗いは絶対にしないでください。
故障の原因になります。
- 禁止** シンナー、ベンジン、スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。タワシ、みがき粉などでみがかないでください。
製品破損や故障の原因になります。
- 強制** 車のアクセサリソケットはきれいにお手入れしてください。
接触不良の場合、DC電源プラグの接触部が熱くなったり、製品が止まったり動作が不安定になり、性能が十分に発揮できない原因になります。

サポートページについて

SC-DF25WL ディープフリーザー 25Lと搭載の温度ロガー GT002-T-DFはサポートページにて最新情報や使いかた、FAQを更新しています。こちらも併せてご確認ください。

SC-DF25WL ディープフリーザー 25L



サポートページ

ディープフリーザーに関する最新情報はこちら



設定ガイド(動画)

簡易ガイドです。別途取扱説明書をよくお読みください。



設定ガイド(PDF)

簡易ガイドです。別途取扱説明書をよくお読みください。



よくある質問

ディープフリーザーのよくある質問はこちら



取扱説明書

温度ロガー GT002-T-DF



サポートページ

温度ロガーに関する最新情報はこちら



使い方ガイド(動画)



使い方ガイド(PDF)



FAQ

温度ロガーのよくある質問はこちら



ダウンロード

温度ロガーの取扱説明書、専用アプリ(TH View)の取扱説明書、使い方ガイドのダウンロードはこちら

本製品について

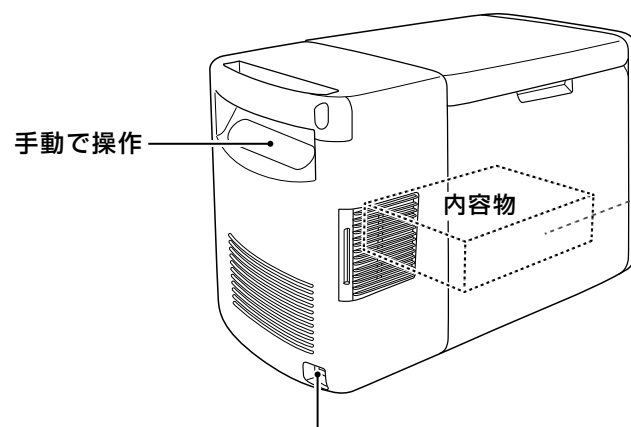
SC-DF25WL ディープフリーザー 25Lは、可搬型のディープフリーザーと温度ロガー（温度記録計）で構成されています。

ディープフリーザーは -40°C から $+10^{\circ}\text{C}$ までの範囲で冷却できる冷凍庫です。

温度ロガーは精密な温度計と記録装置が一体となった装置で無線（Bluetooth）で操作します。ディープフリーザーで測定する内容物の温度を、温度ロガーで計測、記録することで、内容物がどのような温度環境で保管されていたか確認することができます。

SC-DF25WL ディープフリーザー 25L

ディープフリーザー 低温冷凍・冷蔵庫



付属の国内100V用ACアダプターもしくは12V車のアクセサリースOCKETから給電

温度異常は、温度ロガー本体のLED表示、ログのレポートの確認のいずれかで確認ができます。ただし、ディープフリーザー、温度ロガーの警告音の発生（電源喪失時含む）や温度ロガーからの警告メール送信の機能はありません。

温度ロガーではディープフリーザーの温度を制御できません。

● 周囲温度と設定温度について

庫内の温度は -40°C から $+10^{\circ}\text{C}$ の範囲で 1°C 刻みに設定・調節できます。本製品はフリーザーなので加温機能がありません。周囲温度が設定温度より低い場合は設定温度にはなりません。

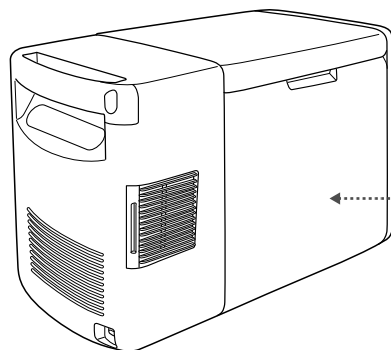
温度ロガー GT002-T-DF 内容物の温度を測定、記録



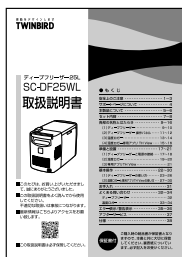
※スマートフォン/タブレットは、SC-DF25WLに同梱していません。事前にご準備をお願い致します。
対応OS：iOS 11 以上もしくはAndroid 9 以上
※専用アプリTempViewのインストールが必要です。

セット内容

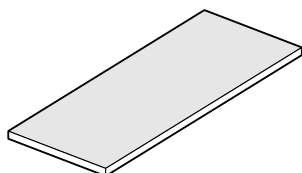
次の同梱物をご確認ください



① ディープフリーザー



② 取扱説明書 (本書)



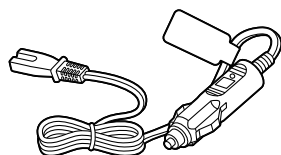
③ マット

ディープフリーザーの庫内に収納されています

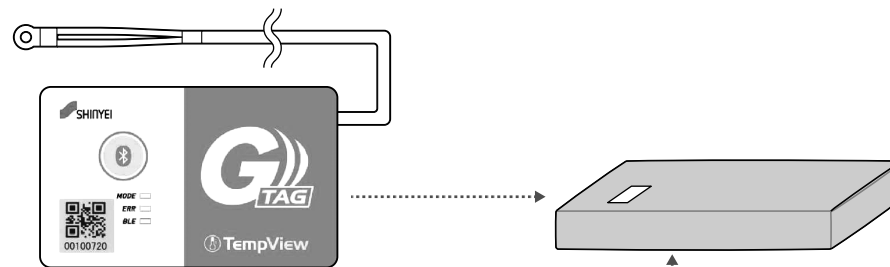


④ 内フタ

⑤ ACアダプター
国内100V専用です

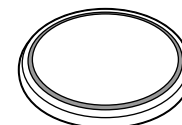


⑥ DC電源コード
12V車専用です

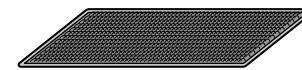


⑦ 温度ロガー GT002-T-DF
(小さい箱に入っています)

【温度ロガーの付属品】



⑧ コイン形電池
(テスト用)
(CR2450X)



⑨ マジックテープ
(ループ、両面テープ付)
*フリーザーに固定する時に
使います



⑩ 校正証明書

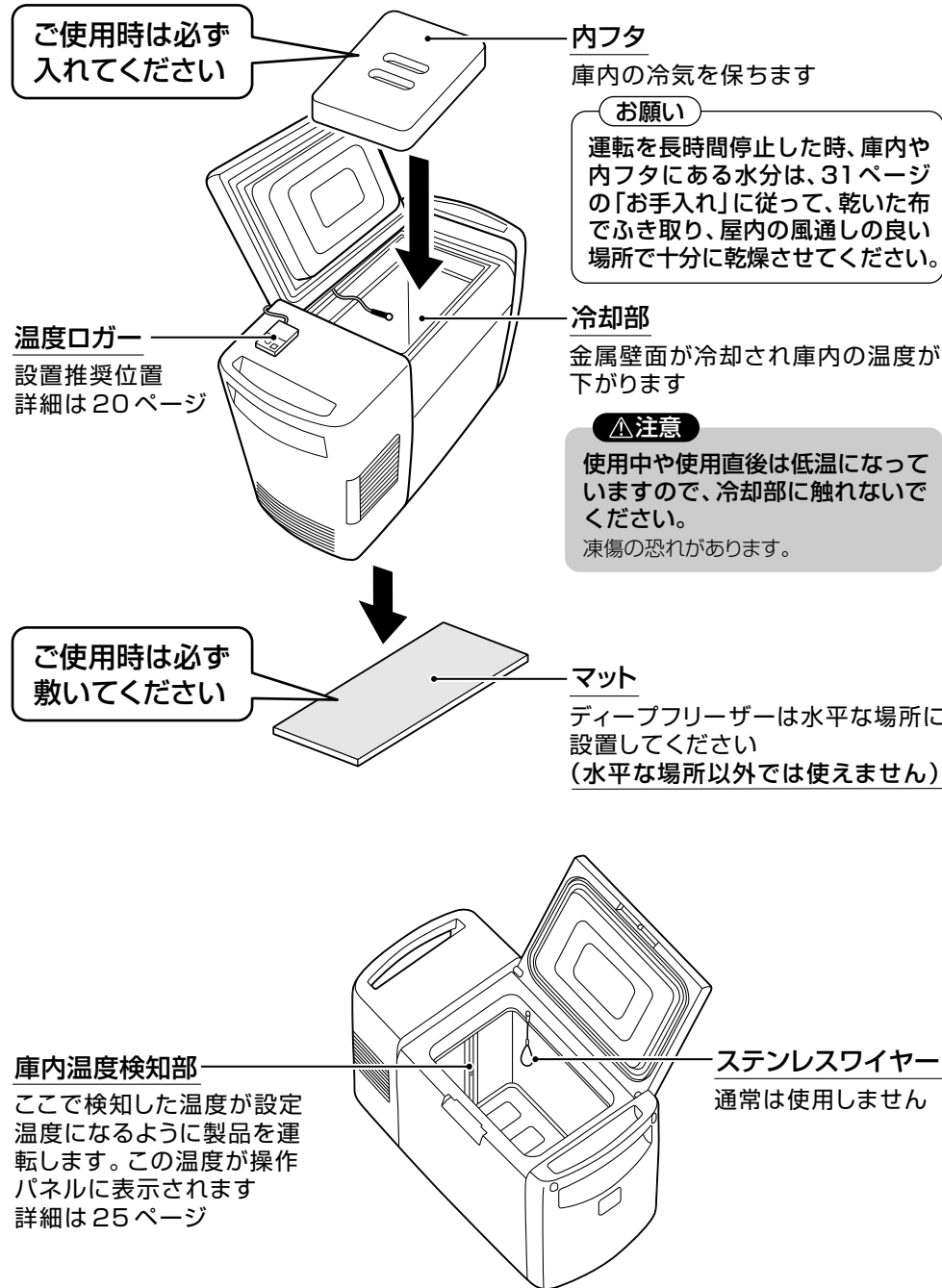
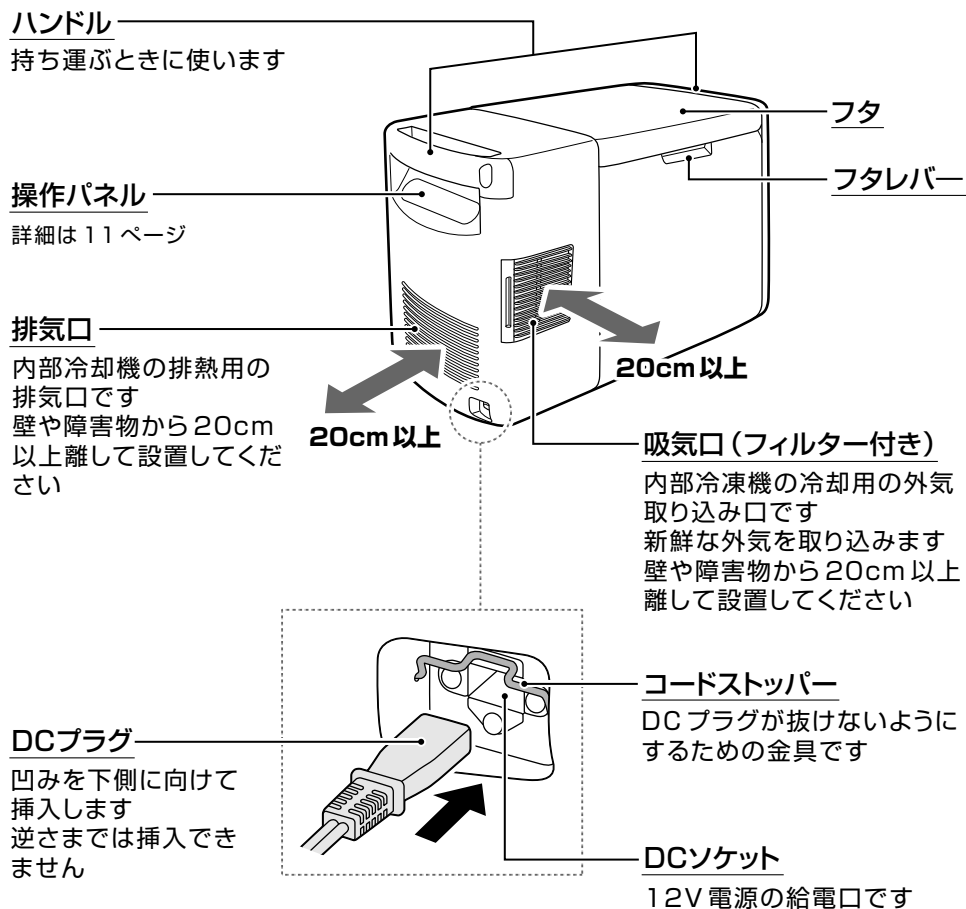


⑪ 取扱説明書
(温度ロガー用)

※スマートフォン/タブレットは、SC-DF25WLに同梱していません。
事前にご準備をお願い致します。
対応OS: iOS 11以上もしくはAndroid 9以上

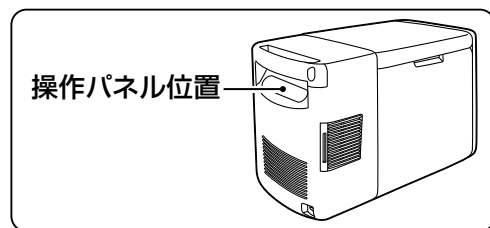
各部の名称とはたらき (1) ディープフリーザー

ディープフリーザーの各部の名称とはたらきをご確認ください



各部の名称とはたらき (2) ディープフリーザー

ディープフリーザーの運転、庫内温度や状態確認、設定は操作パネルで行います

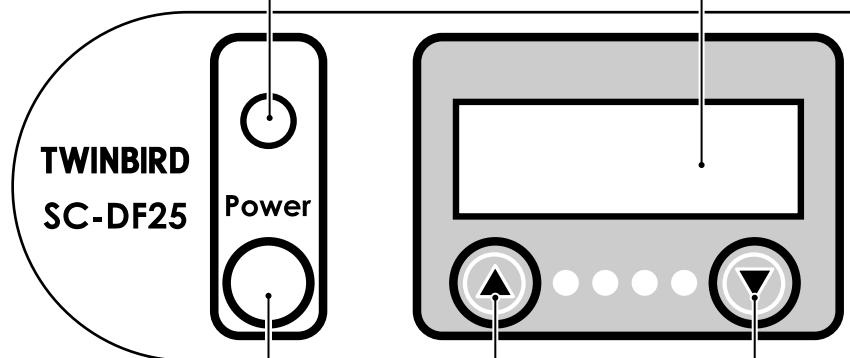


電源ランプ

運転中に点灯します

表示パネル

庫内温度 / 設定温度 / エラーが表示されます
エラーの詳細は 35 ページ



Power スイッチ

運転を ON/OFF します

温度調節ボタン

設定温度を変更する時や
庫内温度の「表示 ON/OFF」
する時に使います

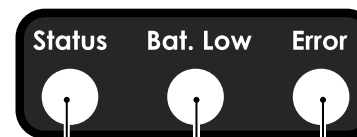
庫内温度を「表示 ON」に設定する場合

△▽のボタンの2秒間同時押し

- 初回工場出荷時の庫内温度は「表示 OFF」です
- 庫内温度と温度ロガー測定温度は異なる場合があります
- ACアダプターやDC電源コードからの電源供給が長時間途切れると、自動的に「表示 OFF」の設定に戻ります

操作パネル

状態表示ランプ



Status

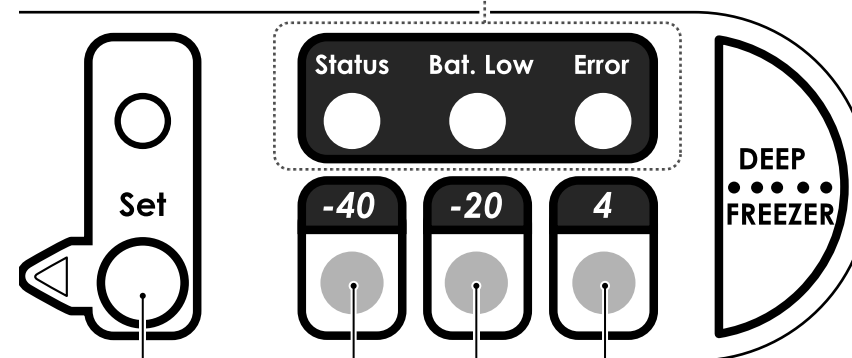
庫内温度が設定温度付近になると点滅から点灯に変わります

Bat.Low

電源電圧が低い場合に点滅します

Error

異常が発生した場合に点滅します



プリセットボタン

長押しで設定温度を「-40℃、-20℃、+4℃」に設定できます

セットボタンとセットLED

設定温度を任意に設定するときに使います (1℃刻みで設定できます)

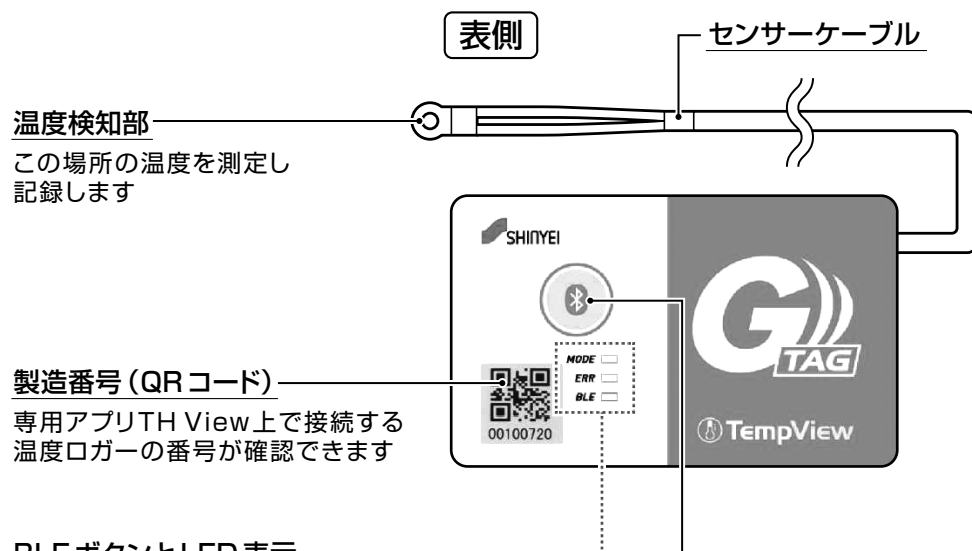
【変更手順】

- ① セットボタンを長押しします
- ② 表示パネルに「現在の設定温度」が点滅表示されます
- ③ 温度調節ボタンの△▽を押して、設定温度を変更します
- ④ セットボタンを押すと表示パネルは点滅から点灯に変わり、設定温度が反映されます
 - 設定作業中はセットランプが点滅します
 - 設定が完了するまで、直前の設定温度が適用されます

各部の名称とはたらき (3) 温度ロガー

温度を精密に測定して記録する装置です。操作は専用アプリTH Viewで行います

使用するには専用アプリTH Viewをインストールした端末(スマートフォン/タブレット)が必要です。
 アプリのインストールについては21ページ、使いかたについては27ページをご参照ください。
 温度ロガーの準備や設置については19ページ、使いかたについては27ページをご参照ください。



温度検知部
 この場所の温度を測定し記録します

製造番号 (QRコード)
 専用アプリTH View上で接続する温度ロガーの番号が確認できます

BLE ボタンとLED表示

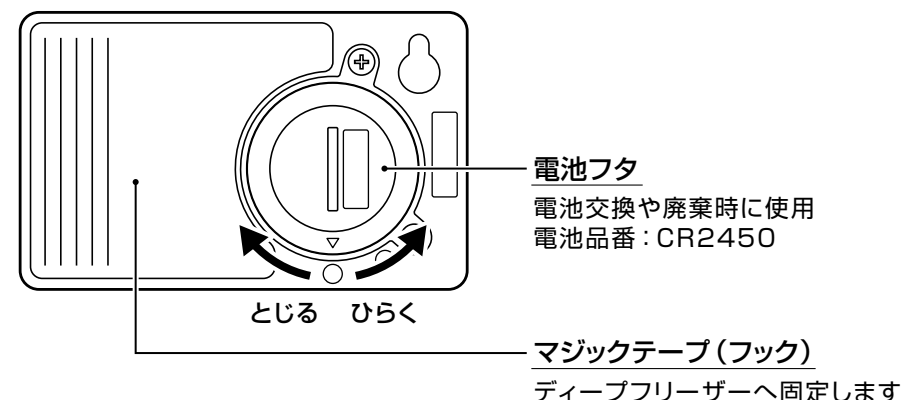
短く押した場合：動作状態が確認できます
 長く押した場合(2秒以上)：端末との接続待ち状態となります

LEDの色	赤	橙	緑
MODE	測定停止状態	測定中 (輸送モード)	測定中 (保存モード)
ERR	電池消耗	設定範囲外 温度記録あり	設定範囲外 温度記録なし
BLE	内部異常	—	点滅：接続待ち 点灯：通信中

記録できるログの数 最大10,000

上限に達すると、自動的に測定を終了します。10,000に達する前にログを取得し、測定を終了した後、新たに測定を開始してください。古いログは自動的に消去されます(消去した場合は復元できません)。

裏側



電池フタ
 電池交換や廃棄時に使用
 電池品番：CR2450

マジックテープ (フック)
 ディープフリーザーへ固定します

専用アプリ TH Viewのインストールはこちら

App Store
 iOS 11以降



Google Play
 Android 9以降



その他、温度ロガーの使いかた詳細は同封の取扱説明書の他、こちらでご確認いただけます

G-TAG TempView GT002-T-DF/GT002-T 使い方ガイド

(PDF)



(動画)



●お問い合わせ先
 神栄テクノロジー株式会社
 TEL 078-304-6795 FAX 078-302-1225
 受付時間 月~金 午前9:00~午後5:00(祝日/休業日を除く)
 WEB <https://www.g-tag.jp>
 E-Mail support@g-tag.jp
 住所 兵庫県神戸市中央区港島南町6丁目5番2

各部の名称とはたらき (4) 温度ロガー専用アプリ

TH Viewは、温度ロガーを操作(測定の開始・終了/ログの取得/レポートの送信)するためのアプリです

TH Viewは最新版をダウンロードしてお使いください。
アプリのインストールについては21ページ、使いかたについては27ページをご参照ください。

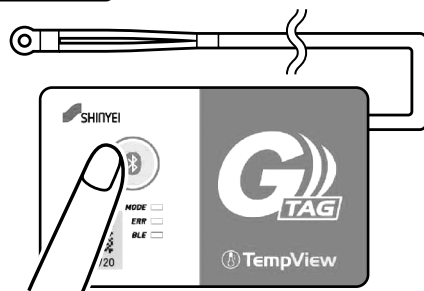
端末 (スマートフォン/タブレット)



TH View
アプリ起動

【対応 OS】
iOS 11 以上
Android 9 以上

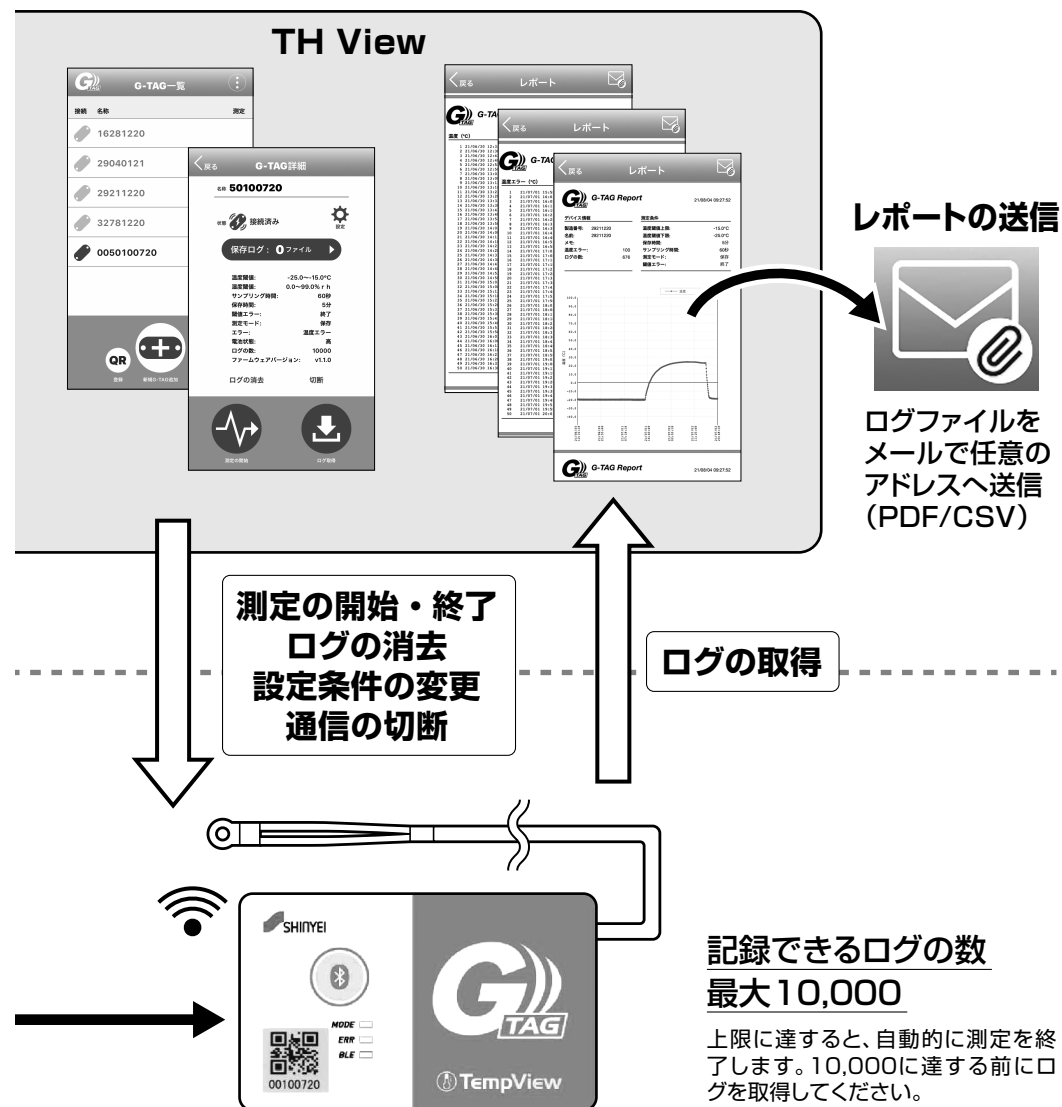
温度ロガー



BLE ボタン長押し

※接続は近距離通信 (Bluetooth) となります。端末と温度ロガーの距離は半径5m以内で操作をお願いします。これ以上離れた場合は接続が切断されます。
※端末の操作で接続を切断する場合があります。操作を続ける場合は再度接続してお使いください。

TH View

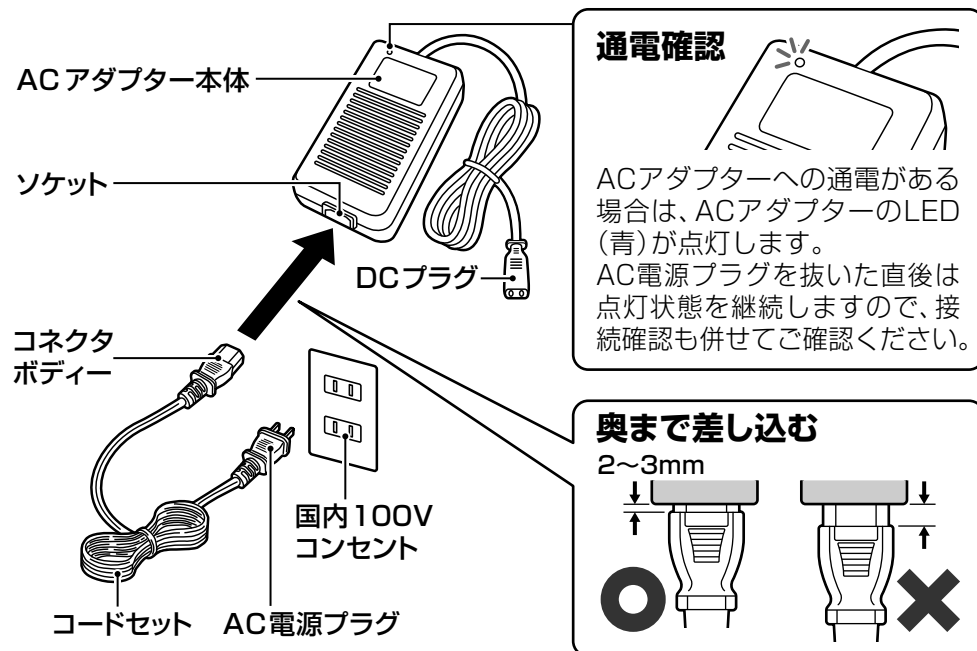


準備と設置 (1) ディープフリーザーと電源の接続

ディープフリーザーは2種類の電源(国内100Vと12V車)で使うことができます

●電源のつなぎかた

①国内100Vコンセントの場合: ACアダプターを使用します



お願い

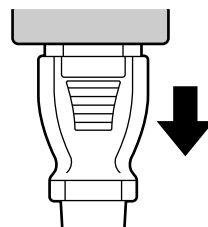
- 15A以上のコンセントを単独でお使いください。
- 同一コンセントで他の機器を同時に使用すると電力不足となり、使用不可となる恐れがあります。
- 延長コードやコードリールの使用は避け、直接、壁コンセントに接続してご使用ください。電圧低下による起動不良や、電圧低下検出により動作が停止し、不安定動作になる恐れがあります。
- 12V車の電源でも使えます。付属のDC電源コードをご使用ください。

ACアダプター本体からコードセットを外す場合

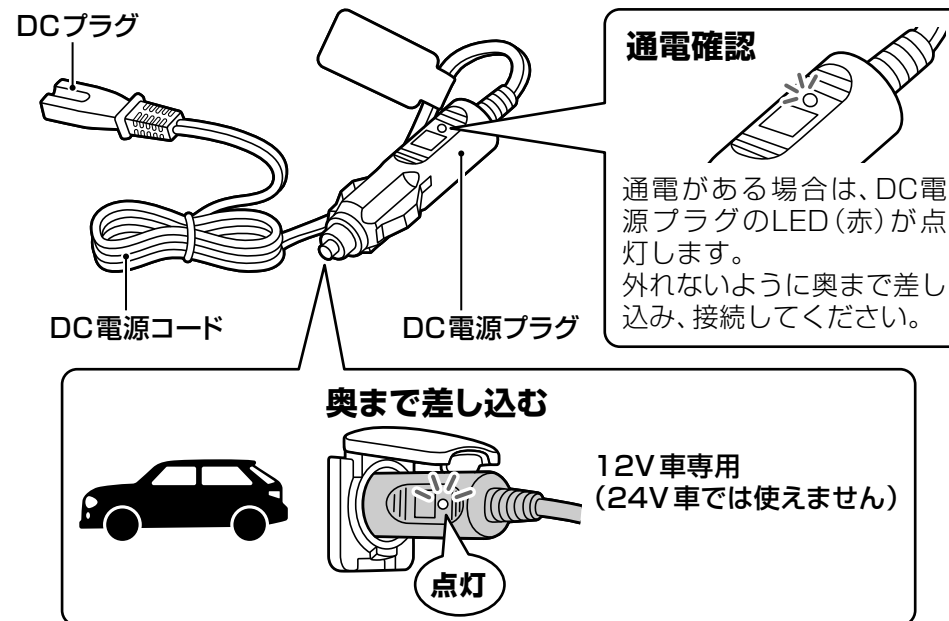
コネクタボディーの側面を持って引き抜いてください。

⚠注意

コードを引っ張ってコネクタボディーやAC電源プラグを抜かないでください。断線や故障の原因になります。

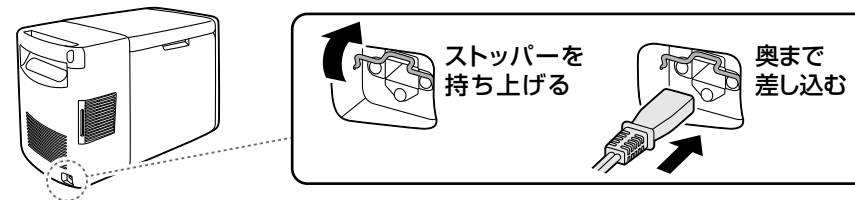


②12V車アクセサリソケットの場合: DC電源コードを使用します

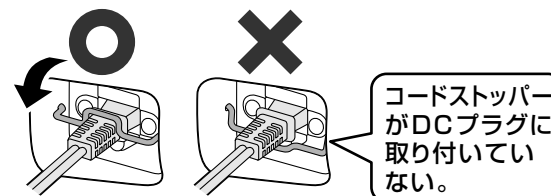


③ディープフリーザーとDCプラグの接続

- 1) コードストッパーを持ち上げ、DCプラグの凹みができるように持ち、DCソケットの奥まで差し込みます。



- 2) DCプラグにコードストッパーを取り付けます。



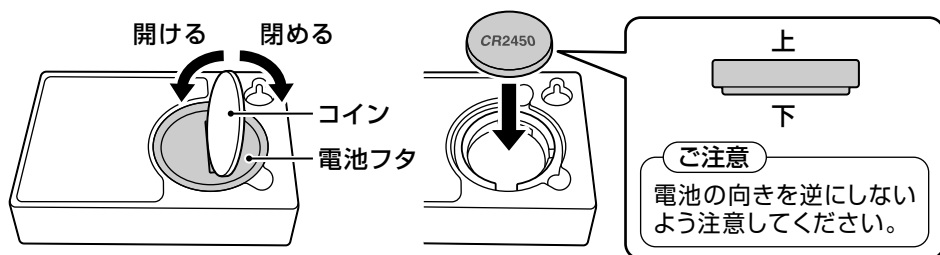
⚠注意

コードは引っかからないように配線してください。プラグやソケットの接続は奥までしっかりと差し込んで定期的に接続をご確認ください。

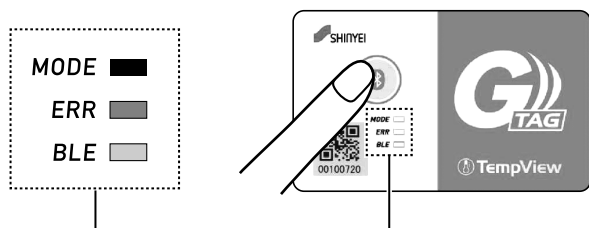
準備と設置 (2) 温度ロガー

● 電池の入れかた

1. コインなどを使って温度ロガー本体裏面の電池フタを反時計回りに回して開けます。
2. 電池フタを取り外し付属の電池の文字 (CR2450) が見える向きに入れます。

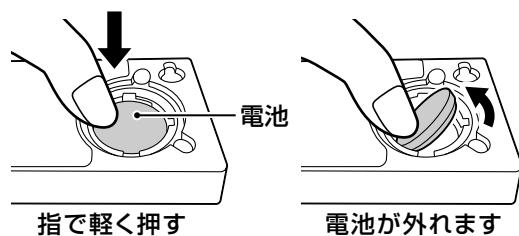


3. 再びコインなどを使って、電池フタを時計回りに回して電池フタを閉めます。
4. 表面の 【BLE ボタン】を押し、いずれかのLEDが点灯することを確認します。
 ✓ カチッとクリック感のあるところまで押してください。
 ✓ 電池を入れた直後はLEDが点灯しない場合があります。



測定開始前には、専用アプリTH Viewで必ず電池残量の確認を行ってください。
電池が消耗していると、ERRランプが赤色に点灯します。

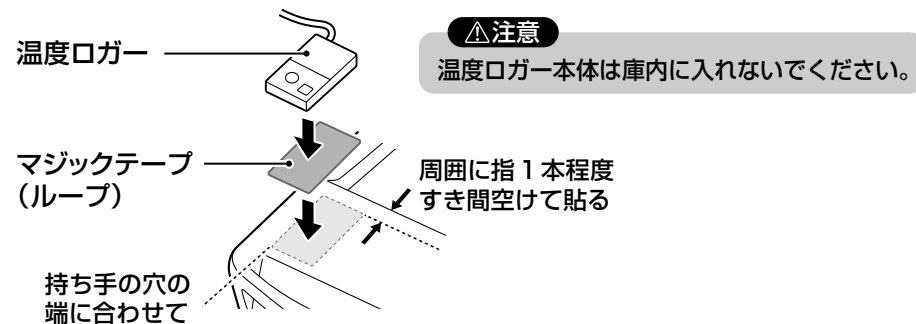
電池を外す場合は



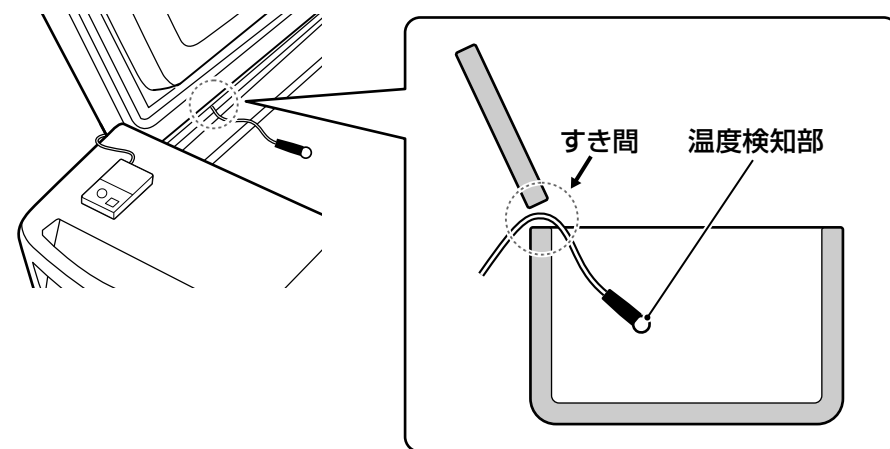
ご注意
破損の恐れがありますので、ドライバーや工具は使用しないでください。

● ディープフリーザーへの取り付け

1. 温度ロガーに付属のマジックテープ (ループ) を図示の場所へ貼り付け、その上に温度ロガーを取り付けます。



2. センサーケーブルをディープフリーザーのフタのすき間から庫内へ入れます。



温度計測はセンサーケーブル先端の温度検知部で計測します。
内容物の入れかた、温度管理については、供給元の指示に従い温度検知部を配置してお使いください。
また、フタの開閉により庫内温度が上昇しますので、フタの開閉は速やかに、最小限にしてください。

内容物については、如何なる場合も弊社は免責であり、保証はいたしません。

準備と設置 (3) 専用アプリTH View

● 端末の準備とTH Viewのインストール

1. 温度ロガーを操作する為の端末(スマートフォン/タブレット)を準備します。

対応OS: iOS 11以上
Android 9以上

2. TH Viewをインストールします。

App Storeもしくは、Google Playで「TH View」と検索するか下記QRコードからダウンロードサイトへアクセスして、インストールをします。



App Store
iOS 11.0以降



Google Play
Android 9以降



TH Viewのインストール方法詳細は、こちらでご覧いただけます。

G-TAG TempView GT002-T-DF/GT002-T 使い方ガイド

(PDF)



(動画)

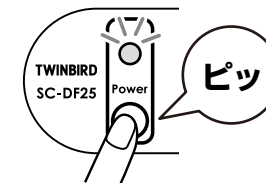


●お問い合わせ先
神栄テクノロジー株式会社
TEL 078-304-6795 FAX 078-302-1225
受付時間 月~金 午前9:00~午後5:00(祝日/休業日を除く)
WEB <https://www.g-tag.jp>
E-Mail support@g-tag.jp
住所 兵庫県神戸市中央区港島南町6丁目5番2

基本操作 (1) ディープフリーザーの使いかた

● ディープフリーザーの運転

操作パネルのPowerスイッチを1秒間長押しします。電源ランプが点灯して運転(冷却)を開始します。運転を停止するときは、再度Powerスイッチを押すことで運転を停止することができます。



電源喪失復帰機能

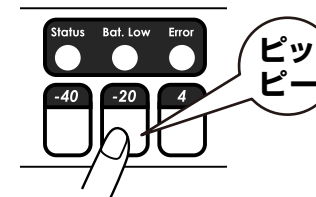
運転中、電源供給が停止した場合、5分以内に電源が復帰したときは電源喪失時の温度設定にて自動的に運転を再開(再起動)します。復帰後には運転開始と、温度設定を再度ご確認ください。

● ディープフリーザーの温度設定

庫内の温度は-40℃から+10℃の範囲で1℃刻みに設定・調節できます。※注1
設定温度は下記AまたはBの方法で変更できます。

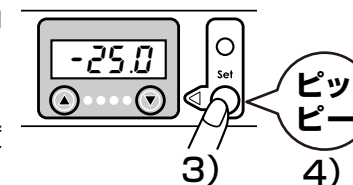
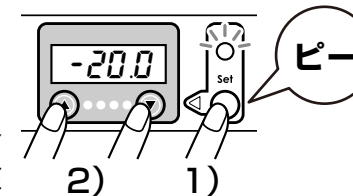
A: プリセットを使う場合

- 1) 操作パネルのプリセットボタン(-40℃、-20℃、+4℃)のいずれかを1秒以上長押しします。
- 2) 「ピッピー」と音が鳴り、設定が完了。設定された温度になるよう運転/制御が開始されます。



B: 任意に設定する場合

- 1) 操作パネルのセットボタンを1回押します。「ピー」と音が鳴り、セットLEDが点灯します。
- 2) 現在の設定温度が点滅表示されますので、変更する場合は続けて温度調節ボタン△▽を押し、温度表示パネルに表示される数値(設定温度)を希望の値に変えます。
- 3) 操作パネルのセットボタンをもう一度1回押します。
- 4) 「ピッピー」と音が鳴り、設定が完了。その後、セットLEDは消灯し、設定された温度になるよう運転/制御が開始されます。



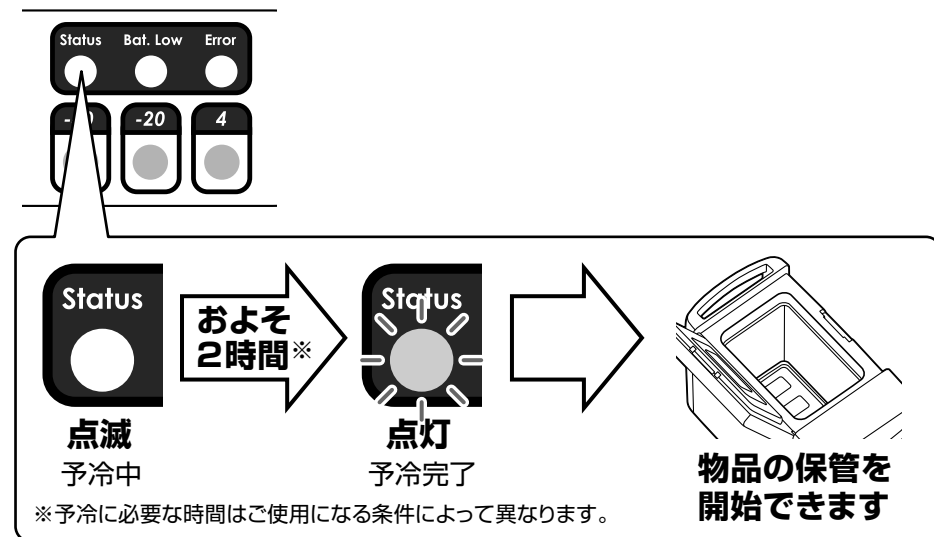
※注1 本製品はフリーザーなので加温機能がありません。周囲温度が設定温度より低い場合は設定温度にはなりません。

基本操作 (1) ディープフリーザーの使いかた

● ディープフリーザーの予冷

庫内に物品を入れる前に、庫内を予冷しておく必要があります。運転(冷却)を開始し、庫内温度が設定温度になるまでは「Status」ランプが点滅します。設定温度に近づくと、「Status」ランプは点灯に切り替わります。

*初めてお使いになる場合や、常温から-20℃程度まで庫内を冷却するためには、およそ2時間程度かかります。



【お知らせ】

設定温度になった後は設定温度を維持するよう冷却運転の運転/停止を繰り返します。このため、設定温度になった後も「Status」ランプが点滅することがありますが、故障ではありません。

● 予冷が終わったら

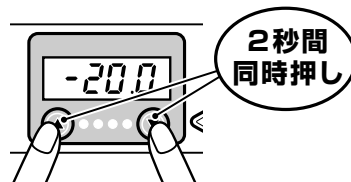
27ページに従い、温度ロガーによる庫内の温度の測定を開始してください。

【お知らせ】

予冷完了前に温度ロガーの測定を開始すると、温度ロガーが庫内温度に異常があると検出してしまいます。(温度ロガーのERRランプが橙色に点灯)

● 庫内温度を「表示ON」

操作パネルの△▽のボタンを2秒間同時押しすることで庫内温度を常に表示させることができます。



● 保管する物品の収納

保管する物品は適切な温度に冷却しておいてください

庫内壁面の壁から1cm以上すき間をあけて物品を収納し、温度ロガーの温度検出部を適切な場所にセットします。

温度検知部のセット

温度ロガーの先端(温度検知部は)、測定したい物品に近づけてセットしてください。物品の上側(フタの近く)や物品の下側(底面との間)にはセットしないでください。フタの開閉や庫内壁面の影響を受け、温度を正しく測定することができません。

庫内には

- 水滴が落ちることがありますので、ぬれると困るものはポリ袋などに入れてから収納してください。

ビン類は

- 庫内で倒れて割れないよう保護をして収納してください。

霜取りについて

- 定期的に霜取りを行ってください。庫内壁面には霜が付きます。霜取りは電源を切り、霜が解けてから柔らかい布などで水分をふき取ってください。
- 水滴が落ちることがありますので、ぬれると困るものはポリ袋などに入れてから収納してください。
- 結露が発生するのは、自然現象であり、故障ではありません。

ご注意

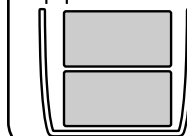
庫内の開け閉めはできるだけ控え、速やかに行なってください。開けたままにしないでください。

内容物の保管条件については、内容物の供給元へご確認ください。

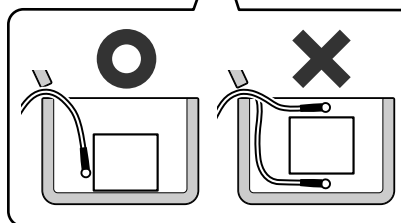
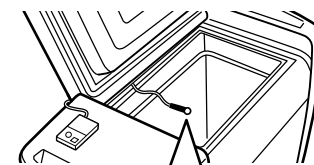
内容物については、如何なる場合も弊社は免責であり、保証はいたしません。

庫内の壁から 離し適当
なすき間をあげます。

→ ← 1cm以上離す



詰め込み過ぎは
冷気の流れを悪く
します。



ご注意

庫内壁面には結露によって霜が付きます。霜が付いたまま使用すると、冷却性能が低下します。

基本操作 (1) ディープフリーザーの使いかた

● 内容物の保管、管理

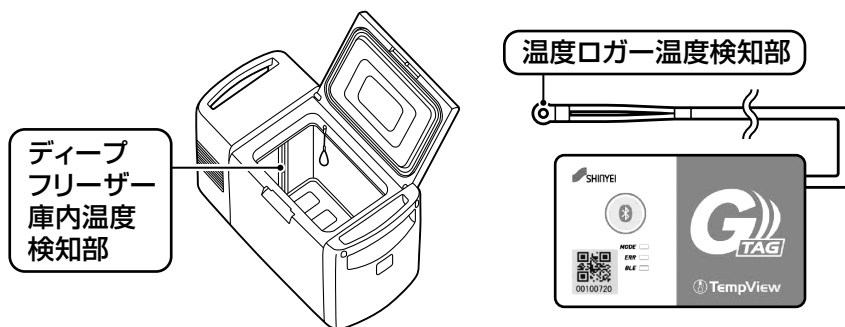
温度ロガーの温度、ディープフリーザーの通電状態をご確認ください

✓ 温度設定の調節

温度ロガーとディープフリーザーの検出温度は異なります。
希望の保管条件となるよう、ディープフリーザーの温度設定を調節してください。

温度ロガーとディープフリーザーの検知温度の違い

ディープフリーザーは下図の庫内温度検知部を代表点として温度を検出しており、この温度をもとに制御を行います。(温度表示も同様)
内容物の温度は温度ロガーで管理します。温度ロガーが希望の温度よりも低い/高い温度を示す場合は、ディープフリーザーの設定温度を上げ/下げして、温度ロガーが希望の温度になるように調節してください。



✓ 温度の定期確認

定期的に温度ロガーのLEDの表示を確認する(30ページ)かログを確認(29ページ)してください。ディープフリーザー本体には電源喪失や温度異常をお知らせするアラーム機能はございません。

✓ 電源の接続確認

17ページの電源接続部(DC電源プラグ・AC電源プラグ・DCプラグ・コネクタボディー)のゆるみの確認、ディープフリーザーの通電確認を定期的に行ってください。

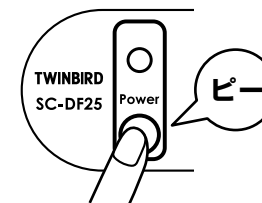
✓ ディープフリーザーの移動

移動時にディープフリーザーの電源供給を一時的に停止する場合は、庫内の温度上昇を防ぐため、速やかに(目安15分以内※)移動させて再度電源につないで再始動してください。

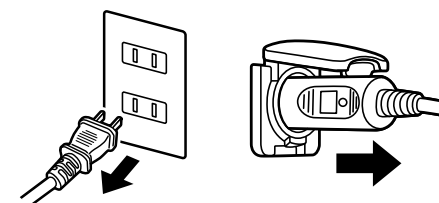
※25℃環境で庫内温度-20℃が5℃上昇する時間

● 使い終わったら

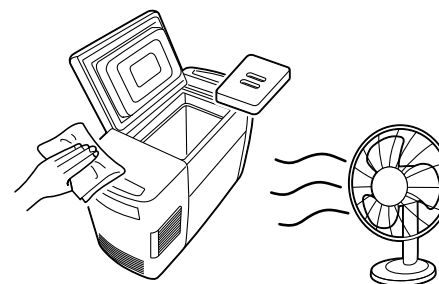
操作パネルのPowerスイッチを押して、運転(冷却)を停止します。



その後、長期にお使いにならない場合は、ACアダプターのAC電源プラグまたはDC電源コードのDC電源プラグを抜き、庫内が室温に戻るまで待ちます。



室温に戻ると、付着していた霜が解け、庫内や内フタなどに水分として付着していますので、乾いた布でふき取り、風通しの良い場所で乾燥させてください。



お手入れについては、31ページをご参照ください。

基本操作 (2) 温度ロガーと専用アプリTH View

温度ロガーの動作モードは、「保存モード」と「輸送モード」があります。本説明では「保存モード」(工場出荷時)に沿った内容となります。設定の詳細やその他の機能については、下記温度ロガー使い方ガイドを参照ください。

G-TAG TempView GT002-T-DF/GT002-T 使い方ガイド

(PDF)



(動画)



アプリケーションの仕様は変更になることがあります。操作については、アプリケーションの指示に従ってください。TH Viewは最新版をダウンロードしてお使いください。

① 端末に温度ロガーを登録する

- 1) TH Viewを起動後、使用する温度ロガーの「BLE」ボタンを2秒間以上長押しして「BLE」ランプを点滅させて、端末「TH-View」からの接続待ち状態にします。
- 2) 端末でTH Viewを立ち上げてTH Viewの画面下側中央にある「新規G-TAG追加」を押します。
- 3) 端末TH Viewの「検出デバイス一覧」画面に表示された製造番号を選択して使用する温度ロガーを登録します。
- 4) 端末TH Viewの「G-TAG一覧」画面上に温度ロガーの製造番号が追加されていたら、登録は完了です。



温度ロガーの登録・接続は、温度ロガーの「BLE」ランプが

の使いかた

② 登録した温度ロガーと端末を接続する

- 1) 使用する温度ロガーの「BLE」ボタンを2秒間以上長押しして「BLE」ランプを点滅させて、端末TH Viewから接続待ち状態にします。
- 2) 端末TH Viewの「G-TAG一覧」画面を更新(下向きにスワイプ)して、温度ロガーを検出して選択し、接続します。
- 3) 接続されると端末TH Viewで「G-TAG詳細画面」が表示され、上部に青い「接続済み」のアイコンが表示されます。

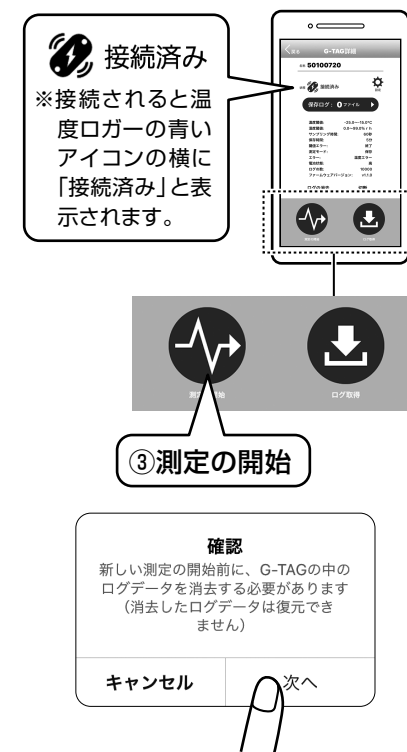


③ 測定を開始する

②の手順で温度ロガーに接続し、端末TH Viewの「G-TAG詳細画面」画面左下側にある青い「測定の開始」を押すと記録が開始されます。このとき、以前測定したログが温度ロガーに残っている場合、ログの消去確認が行われます。

一度消去した温度ロガー内のログは、回復したりログ取得することはできません。一度消去した温度ロガー内のログは、復元できません。消去前に、端末にログを取得してから消去することをお勧めします。

※測定開始後、自動的に接続が切断されます。



点滅している間に行なってください。(約60秒間)

基本操作 (2) 温度ロガーと専用アプリTH View

④ ログの取得

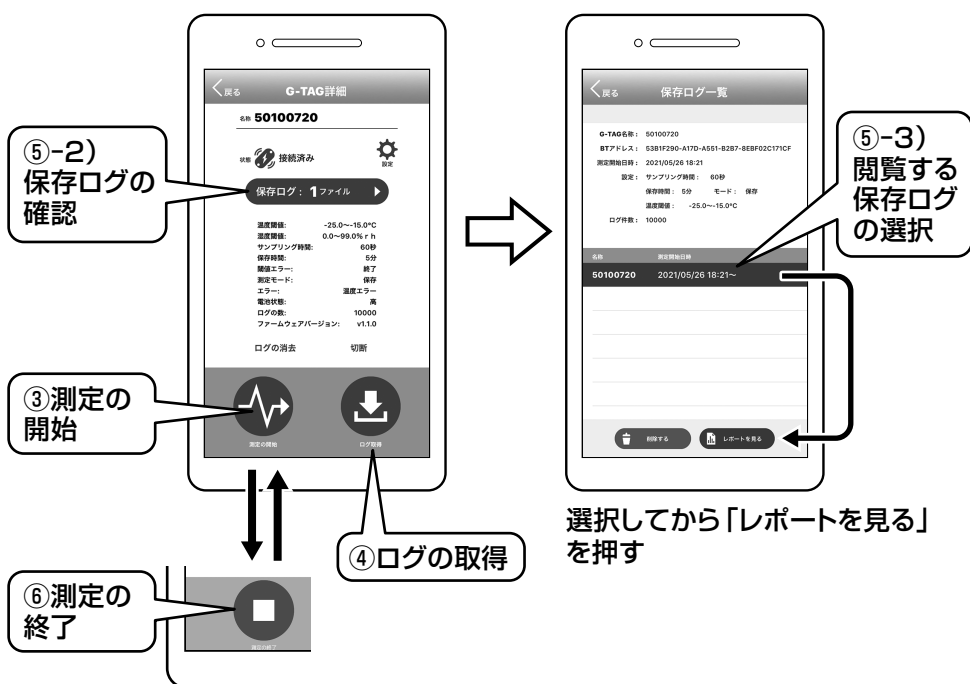
②の手順で温度ロガーに接続し、端末TH Viewの「G-TAG詳細画面」の画面右下側にある青い「ログの取得」を押してログを端末に取得します。

温度ログの取得は、温度ロガー停止中/測定中いずれの場合でも行えます。
測定中の場合は、最後に測定したログまで取得します。

⑤ レポート(ログ)の確認・メール送信

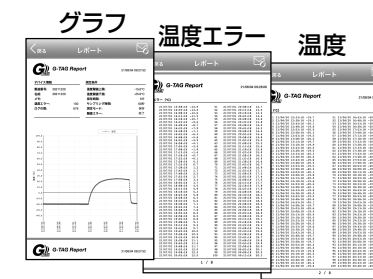
- 1) 端末TH Viewの「G-TAG一覧」から、確認したい温度ロガーを選択します。
- 2) 選択した温度ロガーの「G-TAG詳細」の中央にある「保存ログ」を押します。
- 3) 選択した温度ロガーの「保存ログ一覧」が表示されます。

リストから閲覧したい保存ログを選択し、画面右下の青い「レポートを見る」を押します。



の使いかた

4) 選択した保存ログは、「グラフ」「温度エラー」「温度」の順にレポートで表示されます。(縦にスワイプしてスクロール)



5) レポートの右上にあるメールアイコンを押すとメールアプリが起動し、任意のメールアドレスを入力すると、選択した保存ログをメールで送信することができます。メールにはPDF形式とCSV形式のレポートが自動的に添付されます。



⑥ 測定を終了する

②の手順で測定中の温度ロガーに接続し、「G-TAG詳細画面」の画面下側の赤い「測定の終了」を押して測定を終了します。



測定の終了

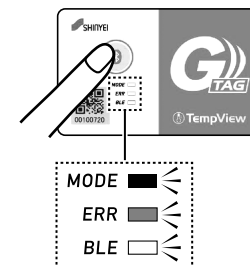
注意

保存データ数 最大 10,000

上限に達すると、温度ロガーは自動的に測定を終了します。10,000に達する前にログを取得し、測定を終了した後に、新たに測定を開始してください。詳しくは温度ロガーの使い方ガイドをご確認ください。

温度ロガーの動作状態を確認するには

端末TH Viewを使用せず、温度ロガーの動作状態を確認することができます。温度ロガー本体のBLEボタンを短く1度押して、LEDの点灯色を確認します。ログ測定中は、動作や庫内温度に異常がないか、定期的に状態を確認することをお勧めします。

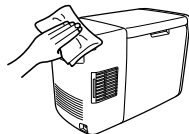


	赤	橙	緑
MODE	測定停止状態	測定中 (輸送モード)	測定中 (保存モード)
ERR	電池消耗	設定範囲外 温度記録あり	設定範囲外 温度記録なし
BLE	内部異常	—	点滅: 接続待ち 点灯: 通信中

お手入れ

製品を安全にお使いいただくため、定期的な次のお手入れをしてください。

本体 / 温度ロガー … やわらかい布でふきとります

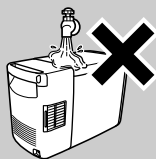


水で薄めた食器用中性洗剤に、やわらかい布を浸してよく絞って本体や温度ロガーをふきます。

▲注意

本体・温度ロガーの丸洗いは絶対にしないでください。

シンナー・ベンジン・スプレー式クリーナー類では絶対にふかないでください。タワシ、みがき粉などでみがかないでください。

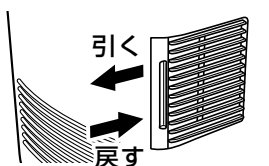


吸気口 … 1カ月に1回は掃除機などでお手入れしましょう。



- 吸気口のフィルターが汚れていると、製品が十分に性能を発揮できません。
- 汚れが落ちにくい場合は、市販のブラシなどを使用しやさしくこするようにして、汚れを落してください。

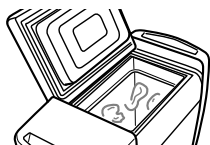
フィルターの引き出し方法



▲注意

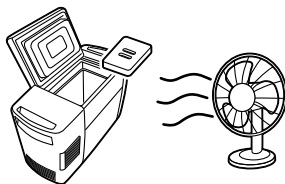
- フィルターは取り外しできません。左図の方向に、引き出してお手入れしてください。
- フィルター清掃後は、確実にフィルターをもとに戻してください。戻さず使用すると故障の原因になります。

庫内のお手入れ

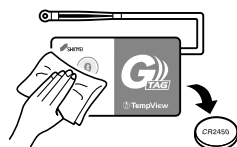


運転中は結露により生じた水が凍結します。庫内のお手入れの際には、電源を切って庫内の氷をとかしてふきとり、ふたを開けたまま一日程度乾燥させてください。

- 結露が発生するのは、自然現象であり、故障ではありません。
- 水にぬれて困るものを収納する場合は容器やポリ袋に入れてください。



- ディープフリーザー
ふたを開けて庫内や内ふたを乾燥させてから、ふたを閉めて保管をしてください。



- 温度ロガー
中に入っている電池を取り外し、本体・温度検知部・センサーケーブルを軽く拭いて保管してください。

よくあるお問い合わせ

SC-DF25WL ディープフリーザー

Q: 電源が入らない。

以下の箇所を確認し、処置してください。回復しない場合は、お客様サービス係までご相談ください。

- ACアダプターを正しく接続してください。
 - ① ACアダプターのLED(青色)が点灯していることを確認してください。
 - ② ACアダプター本体にコネクタボディーが奥まで差し込まれているか確認してください。
- DC電源プラグをアクセサリソケットにしっかり差し込んでください。
 - ① アクセサリソケットの汚れ(灰やごみ)を取り除いてください。
 - ② DC電源コードのヒューズが切れていないか確認し、交換してください。
 - ③ 車のヒューズが切れていないか確認し、処置してください。
- Bat.Lowランプが点滅していないか確認し、バッテリーの状態を確認してください。

Q: よく冷えない。

以下の箇所を確認し、処置してください。回復しない場合は、お客様サービス係までご相談ください。

- 内容物を詰めすぎているか確認し、内容物を減らし、すき間を空けてください。
- 内ふたを使用しているか確認し、必ず内ふたを入れてお使いください。
- ふたが完全に閉まっているか確認してください。
- 製品が熱源(直射日光、ストーブなど)にさらされていないか確認し、涼しい場所に移動してください。(製品の使用温度範囲は0℃~35℃です)
- 吸気口、排気口を塞いでいる物がないか確認し、取り除いてください。
- 吸気口のホコリを取り除いてください。
- ふたの開閉を極力減らし、ふたを開ける時間を短くするようにしてください。

Q: 温度ロガーの温度が設定温度にならない。

センサー先端(温度検知部)の位置は底面とふたの近くは避けて、保管対象物の近くに設置してください。また、本体の温度表示は目安となります。温度ロガーの温度が保管したい温度になるようにディープフリーザー本体の設定温度を調節してください。調節のしかたは22ページをご覧ください。

Q: 停電など、電源が切れた時にはどうなりますか。 どの程度なら電源供給が無い状態で温度維持できますか。

- 内部に補助電源などはありませんので、電源喪失時は運転が停止したときから庫内温度が上がります。
※ 停電や故障などで運転が停止した場合の庫内温度上昇の参考値
-20℃ → -15℃: 約25~30分(周囲温度25℃) / -20℃ → 0℃: 約2時間(周囲温度25℃)
- 速やかに非常用電源などに接続し、Powerスイッチを押し、ご希望の温度に設定してお使いください。
- 約5分以内に電源回復した場合や非常用電源に切り替わる場合は、設定を維持して、自動で運転を再開します。スロースタート(徐々に消費電力が大きくなり、約5分で定格消費電力になる)からの再開となります。(瞬時の切り替わりでも、本機が停電を検知すると、一度運転を停止し、スロースタートからの再開となります。)電源回復後に本製品の動作を必ずご確認ください。
- 停止していた場合、Powerスイッチを押し、希望の温度に設定してお使いください。
- 実際の庫内温度状況は、温度ロガーのログを取得して、レポートをご確認ください。

よくあるお問い合わせ

GT002-T-DF 温度ロガー

Q: 温度ロガーでディープフリーザーの庫内温度を測定中に、温度に異常があった時、アラーム音を出したり、スマートフォンに通知したりする機能はありますか。

アラーム音や通知機能はありません。定期的に温度ロガーのBLEボタンを押して (ERR) ランプの色が橙色になっていないことを確認するか、TH Viewのレポートからログの確認をしてください。

Q: ディープフリーザーが設定温度に安定する前に温度ロガーの測定を開始し、ERRランプが橙色 (温度エラー) となりました。設定温度に安定した後もERRランプが橙色のままなのですがなぜですか。

設定した閾値範囲を超えた場合は、ERRランプが橙色になります。現在の温度を示すものではありません。

Q: ERRランプの橙色を、緑色に戻すにはどうすればいいですか。

現在の温度ロガー内部のログを消去する必要があります。
測定を停止することができる場合は、測定を停止してから一度ログを端末 (スマートフォン) に取得をしてください。その後、「ログの消去」を行ってから、測定を再開してください。
温度ロガー内部のログを消去することで、エラーの記録も消去され、緑色の点灯に戻ります。これまでのログが端末 (スマートフォン) に転送完了していれば、TH Viewのレポートから確認することができます。

Q: 温度ロガーのBLEボタンを長押しして、BLEランプを点滅させたのですが、TH Viewの「G-TAG一覧」画面から接続しようとしてもできません。

BLEランプを点滅させた後、TH Viewの「G-TAG一覧」画面でページを下にスワイプして指を離すと画面が更新されます。画面更新後、接続状態を示すマークがグレー色から青色になっていることを確認しタップしてください。

Q: 電池はどれくらい持ちますか。

初期設定の「保存モード」のまま測定する場合、約180日が目安となります。「輸送モード」に変更して測定する場合は約14日が目安となります。

Q: 「測定の終了」をしなくて約1か月ほど測定を続けていましたが、MODEランプが赤になり測定が終了していました。

温度ロガーで測定できるログの数は最大10,000です。10,000に到達すると、温度ロガーは自動的に測定を終了し、「測定停止状態」に切り替わります。

専用アプリ TH View

Q: 「測定の開始」をすると「ログの消去確認」が表示されます。どういう意味ですか。

温度ロガー内部に、以前測定したログがあることをお知らせしています。必要に応じて、測定を開始する前に、温度ロガーからログを取得してください。測定を開始するときには温度ロガー内部のログを消去する必要があります。一度消去したログは復元することはできません。

Q: TH Viewをインストールした複数の端末 (スマートフォン) から1台の温度ロガーに同時に接続することはできますか。

同時には接続することはできません。
1台ずつであれば複数の端末 (スマートフォン) から1台の温度ロガーに接続することが可能です。

Q: 「保存モード」で測定中、端末 (スマートフォン) でログを取得をしたり、レポートを見たりすると「未接続」になります。

「保存モード」の場合、「G-TAG詳細」画面から別の画面に移動すると自動的に接続が切断されます。ログの取得を完了していれば、切断後もTH Viewでレポートを見ることができます。

Q: 過去に取得した保存ログが無くなってしまいました。

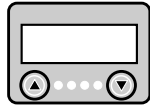



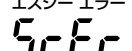
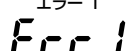
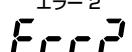
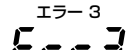
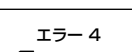
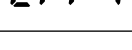
「G-TAG一覧」から温度ロガーの登録を削除した場合、その温度ロガーの保存ログは、端末 (スマートフォン) から消去されます。その温度ロガーを再登録しても以前の保存ログは復元できません。温度ロガーを返却する場合でも、その温度ロガーで取得した保存ログが不要になるまでは、「G-TAG一覧」から削除しないでください。メール送信機能を使って保存しておくことも効果的です。

Q: Bluetoothの接続ができません。初回インストール時に位置情報やBluetoothの使用許可は行っています。どのように対応すればいいですか。

お使いのスマートフォン/タブレットの再起動を行ってから、もう一度操作を行ってください。

エラー表示 / 警告表示

異常を検出すると、運転停止するか、冷却性能が低下した状態で運転継続します。

	画面表示	ランプ			警告音	運転
						
【エラー】 異常検出により運転を停止しました 自動復帰しませんので電源を切って再始動してください (Err5/Err6を除く)	エスシーエラー 	点滅	点滅	点滅	あり	停止
	エラー 1 	点滅		点滅	あり	停止
	エラー 2 	点滅		点滅	あり	停止
	エラー 3 	点滅		点滅	あり	停止
	エラー 4 	点滅		点滅	あり	停止
	エラー 5 	点滅		点滅	あり	停止
【警告】 冷却性能が低下しています 状態が回復され次第正常運転します	庫内温度 or 表示なし	点灯			あり	※ 制限運転
	庫内温度 or 表示なし	点灯	点滅			

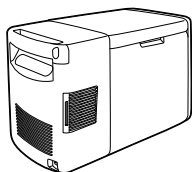
※制限運転は冷却運転を制限しているので、

自動復帰	検出された異常内容	回復方法 *下記内容の通りに対応後も改善されない場合は、弊社「お客様サービス係」までご相談ください。
しない	内部異常を検知しました	30分程度運転を止めてから、再度通電/運転再開してください。
しない	庫内温度が高くなりすぎています	室温程度の涼しい場所に移動して4時間以上放置後、運転を再開してください。
しない	庫内温度が低くなりすぎています	室温程度の温かい場所に移動して4時間以上放置後、運転を再開してください。
しない	内蔵の冷凍機が熱くなりすぎています	フィルターを清掃後、室温程度の涼しい場所に移動し、排熱が循環しないよう壁/障害物から20cm以上離して設置してください。2時間程度運転を止めてから、運転を再開してください。
しない	内蔵の冷凍機の温度が低くなりすぎています	室温程度の温かい場所に移動してください。2時間程度運転を止めてから、再度通電してください。
する	電源電圧が低くなりすぎています	国内100V電源の場合は、付属のACアダプターをお使いください。12Vの直流電源(自動車のバッテリーなど)の場合は、電源電圧が低下していないか確認してください。車のアクセサリソケットから給電をしている場合は、必ずエンジンをかけた状態でお使いください。
する	電源電圧が高くなりすぎています	国内100V電源の場合は、付属のACアダプターをお使いください。直流電源をお使いの場合は、直流電源電圧が12Vであることをご確認ください。(24V車では使えません。)
する	内蔵の冷凍機が熱くなっています	フィルターを清掃後、室温程度の涼しい場所に移動し、排熱が循環しないよう壁/障害物から20cm以上離して設置してください。 *これ以上冷凍機が熱くなると、“Err 3”となり、運転停止します。
する	電源電圧が低くなっています	国内100V電源の場合は、付属のACアダプターをお使いください。12Vの直流電源(自動車のバッテリーなど)の場合は、電源電圧が低下していないか確認してください。車のアクセサリソケットから給電をしている場合は、必ずエンジンをかけた状態でお使いください。 *これ以上電源電圧が低下すると、“Err 5”となり、運転停止します。

庫内温度が上昇する場合があります。温度ロガーの温度をご確認の上、回復対応をしてください。

アフターサービス

SC-DF25WL ディープフリーザー 25L



サポートページ

1.保証書

- 納品書が保証書となります。
- 納品書上の納入日をご確認ください。
- 本取扱説明書の保証書欄をよくお読みになり、納品書と共に大切に保管してください。

2.保証期間

お買い上げ日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料修理になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3.修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、なお異常があるときにはDC電源プラグやAC電源プラグを抜いてから「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。
製品に保証書を添えて「お客様サービス係」までお申し出ください。内容物の補償など製品修理以外の責はご容赦ください。

●保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。「お客様サービス係」にご相談ください。

警告 お客様ご自身の修理は大変危険です。
絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。

4.補修用性能部品の最低保有期間

- このDEEP FREEZER 25Lの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後6年です。
- 性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.アフターサービスについてご不明の場合

「お客様サービス係」にお問い合わせください。

〈修理料金のしくみ〉

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

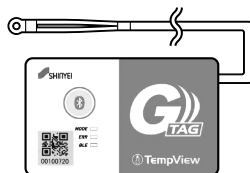
技術料	故障した製品の修理および部品交換などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

〈修理部品について〉

修理部品は、部品共有化のため、一部仕様や外観色を変更することがあります。

SC-DF25WL ディープフリーザーに関するお問い合わせ「お客様サービス係」専用ダイヤル ☎ (フリーダイヤル) **0120-28-4625**
お電話承り時間 9:00~17:00 (365日受付)
(FAX) 0256-93-1077
(受付:月~金 ※祝日・夏季休業・年末年始は除く)

温度ロガー GT002-T-DF



サポートページ

- 「温度ロガー (G-TAG 品番: GT002-T-DF 神栄テクノロジー株式会社製)」と専用アプリ「TH View」の仕様/使いかたに関する詳細は、温度ロガーに同梱されている取扱説明書に記載しております。ご確認ください。

- お問い合わせ先は下記または神栄テクノロジー株式会社HPをご確認ください。

神栄テクノロジー株式会社

TEL 078-304-6795 FAX 078-302-1225

受付時間 月~金 午前9:00~午後5:00 (祝日/休業日を除く)

WEB: <https://www.g-tag.jp> E-mail: support@g-tag.jp

住所 兵庫県神戸市中央区港島南町6丁目5番2

仕様

SC-DF25WL ディープフリーザー

使用電源(定格)	DC12V		
消費電力	ACアダプター使用時	AC100V 55W(0.55A)	
	DC電源コード(12V車用)使用時	48W(4A)	
庫内設定温度 (ただし、周囲温度が設定温度より低い場合は設定温度にはなりません。)	-40℃~+10℃(周囲温度25℃) *測定位置 庫内温度検知部 *表示公差 +/-3℃ *1℃刻みで設定可能		
使用温度範囲	0~35℃		
庫内寸法(約)	WDH: 335×225×340(mm)		
庫内容積(約)	25ℓ(内フタ含む)		
製品寸法(約)	WDH: 695×350×460(mm)		
製品質量(約)	16.5kg		
コード長(約)	ACアダプター	アダプター DCプラグ間	1m
		コードセット	1.8m
	DC電源コード(12V車用)		3m
付属品	マット...1 ACアダプター...1 内フタ...1 DC電源コード...1 取扱説明書...1 温度ロガー...1		

●突入電流について

本製品はモーター駆動による突入電流の発生はありません。
コンセントへの挿入時、12Vアクセサリソケットへの挿入時、および停電復帰後の電源供給開始時のみ、入力側に配置したコンデンサへの充電電流が流れます。

AC100V時約45A 負荷時間約0.01秒

DC12V時約50A 負荷時間約0.002秒

●他社の商標登録または商標について

- 「G-TAG」は神栄テクノロジー(株)の商標または商標登録です。
- Bluetooth®およびBluetooth® Low Energyは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。神栄テクノロジー(株)はこれらのロゴおよびマークをライセンスに基づき使用しています。
- iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用しています。
- App Storeは、Apple Inc.の登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- 本文中および図中では「TM」、「®」マークを明記していない場合があります。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

TWINBIRD ツインバード工業株式会社

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田2084-2

SC-DF25WL ディープフリーザーに関するお問い合わせ「お客様サービス係」

専用ダイヤル ☎ (フリーダイヤル) [0120-28-4625](tel:0120-28-4625)

お電話承り時間 9:00~17:00 (365日受付)

(FAX) 0256-93-1077 (受付: 月~金 ※祝日・夏季休業・年末年始は除く)

TB-00015062-2

ツインバードロゴ、フリーダイヤルをタッチ/クリックするとアクセスできます